

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	桜環境センター余熱体験施設
(2)施設概要	<p>①所在地           さいたま市桜区新開4丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的   桜環境センターで廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況を体験でき、市民の健康の維持及び推進を図る。</p> <p>③施設の概要       大浴場、岩盤浴、ウォーキングプール、トレーニングルーム、娯楽室、レストラン</p>
(3)指定管理者	株式会社エコパークさいたま
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成27年4月1日～令和12年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度226,108千円、令和5年度233,635千円、令和6年度239,139千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 287,713人(前年度269,217人)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大浴場 : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・岩盤浴 : 大浴場営業日に入場制限をせず営業</li> <li>・ウォーキングプール: 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・トレーニングルーム: 休館日、臨時休館期間を除き時間制限(2時間)及び人数制限(15人)のうえ営業</li> <li>・スタジオ: 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・娯楽室 : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・レストラン : 休館日、臨時休館期間を除き営業 (11:00～15:00、17:00～20:00)</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱体験施設の運営及び清掃</li> </ul>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料239,139千円   (前年度233,635千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費130,964千円       (前年度121,425千円)</li> <li>・事務費15,084千円       (前年度13,900千円)</li> <li>・施設管理費39,922千円   (前年度35,181千円)</li> <li>・事業費29,481千円       (前年度27,169千円)</li> <li>・光熱水費 65,019千円   (前年度 60,400千円)</li> </ul>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	アンケート集計を月次報告書に添付し、対応について報告しています。また、アンケートのご意見に対する回答を館内に毎月掲示しています。
(8)その他	

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
レストランメニュー	3ヶ月ごとに季節限定メニューを考案し、利用者様を飽きさせることの無いよう、季節感を出せるよう工夫しました。
スタジオプログラム	令和6年度は1,204回開講し、延べ6,431名(昨年度比112%)の方々にご参加いただいております。
岩盤浴	イベント時には半額キャンペーンを行い、6,630枠、延べ3,426名(昨年度比130%)の方々にご利用いただきました。
スタッフ研修	令和6年4月15日には桜消防署の方々にご協力いただき、スタッフの普通救命講習を実施しました。 万一の際、迅速な対応が出来るよう真剣に取り組みました。

## 3 評価

### (1) 指定管理者による評価

令和6年度の入館者数は前年度に比べ107%と増加し、287,713名の方にご利用いただきました。  
1日の平均ご利用者様数は前年度約906名から本年度は975名様と増加しており、多い日には1,300名様を超えるご来館をいただきました。最多入館者数は2025年2月11日の1,316名でした。スタジオやトレーニングジムで、岩盤浴では昨年度より入室制限などをほぼ撤廃し多くの方々にご利用をいただき、こちらも昨年を上回る利用者数でした。また、イベント開催時等は事前の告知に努め、利用者される方々に広くお伝え出来るよう努めました。一方、一部マナーやルールをお守りいただけない利用者様に対しては他の利用者様にご迷惑のかからないようお声がけや館内掲示等に対応いたしました。  
レストランでは季節ごとのメニューに加え、イベント時の特別ランチなど趣向を凝らしました。  
スタッフ教育としては、避難訓練と消防訓練、普通救命講習を実施し、利用者様の避難・誘導を中心に通報・避難の手順、関係者間の連携と心肺蘇生などを確認し、万一の場合に備えました。

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:環境局施設部環境施設管理課)

総合評価 **(B)** ※A~D  
・利用者に対するルールの周知を行い、イベント等の告知に努め、満足度の向上と利用者増に努めている。  
・利用者の安全確保のため、災害等が発生した際に適切に対応するため、応急手当研修や避難訓練を実施し、安全管理体制の強化が図られている。  
・施設については適宜、設備メンテナンス、定期的な館内清掃が実施されている。  
・レストランの運営にあたっては、新たなメニューの追加等の品質向上に向けた工夫が図られており、利用者から好評を得ている。  
  
以上のことから、市民への利用促進、適正な維持管理における成果があり、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

・利用者のニーズの把握に努め、利用者満足度の向上を図るとともに、環境改善や速やかな修繕等を行うことにより、適切かつ安心・安全な施設の管理運営に努めること。  
・高齢者の施設利用が多く、急な体調不良により、救急車要請が増加傾向にあるため、施設内の巡回頻度等の増により体調不良者の早期発見に努めること。